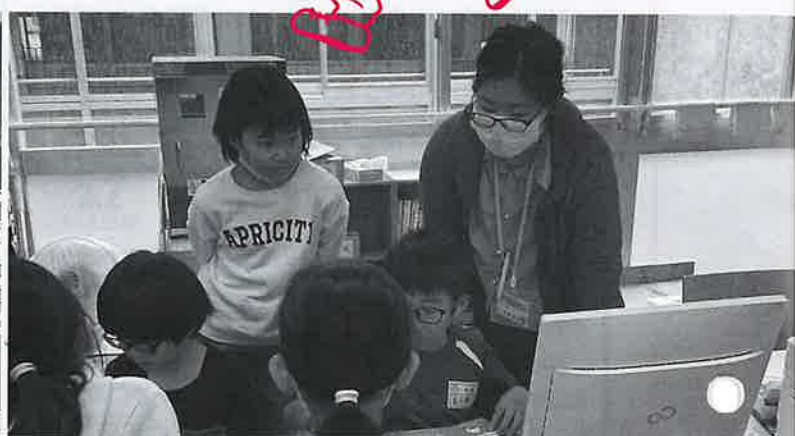


矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは8名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！



矢祭もったいない図書館に地域おこし協力隊として着任しました、畠山青畝です。これからよろしくお願いします。

大学ではデザインを学んでいましたが、そこで製本の授業を受けて本作りに興味を持ち、製本屋に就職しました。なので本の内容よりもつい装丁に関心がいきます。本を開くと大体船を漕いでしまうので、読書は矢祭の子ども達を見習ってもう少し頑張りたいです。

製本屋で働いて何年かして、「違う形で本と関わる仕事もしてみたい」とぼんやり考えるようになりました。その後に転職をきっかけにもったいない図書館の募集を知り、応募をして今に至ります。新しい仕事にまだ戸惑ってばかりですが、図書館を通じて町の人達と色んなことにチャレンジ出来たらと考えています。まずは、図書館について知ってもらえるよう励み、「前に図書館行ったのいつだったけ?」「読みたい本もないしな…」という方も、入り口だけでもふらっと覗きに來たくなる場所に近づけられたらと思います。

**畠山青畝** Seiho Hatakeyama  
読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。

矢祭町の皆様、はじめまして！眞野夏凜（まのかりん）と言います。青森県出身です。昔から本を読むのが好きで、昨年度までは短大で司書資格取得を目指していました。無事に卒業し、司書資格も取ることができました。司書資格を活かして働けること、またそれを矢祭町という素敵な場所で出来るのが本当に嬉しいです。

最近は小説を書いたり、絵を描いたりするのにハマっています。最近はあまり読んでいませんが、読書も大好きです！中でもお気に入りの文章があります。それはこちらです。「ぽかんと花を眺めながら、人間も、本当によいところがある、と思った。花の美しさを見つけたのは、人間だし、花を愛するのも人間だもの。」太宰治の『女生徒』の文です。何気なく記憶に残っている素敵な文章を、時間が経ってもう一度読み返したくなる——そういう経験を子供たちにもしてもらえるように、またメディアセンターがより足を運びやすい場所となるように頑張っていきます。よろしくお願いいたします！

**眞野夏凜** Karin Mano  
読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。

